

がん対策推進アクションプランの実行に向けて

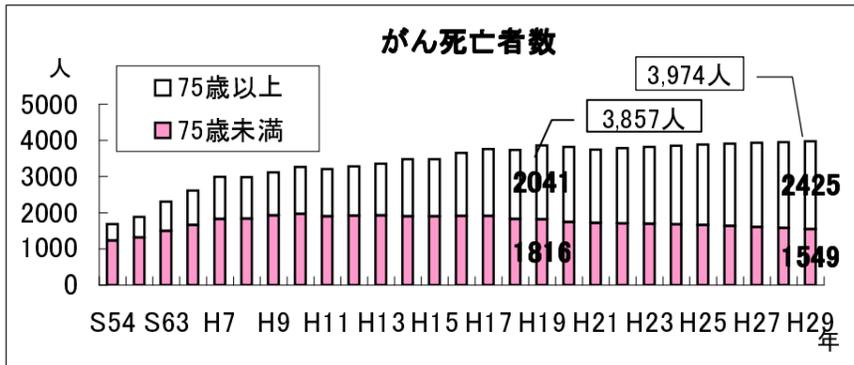
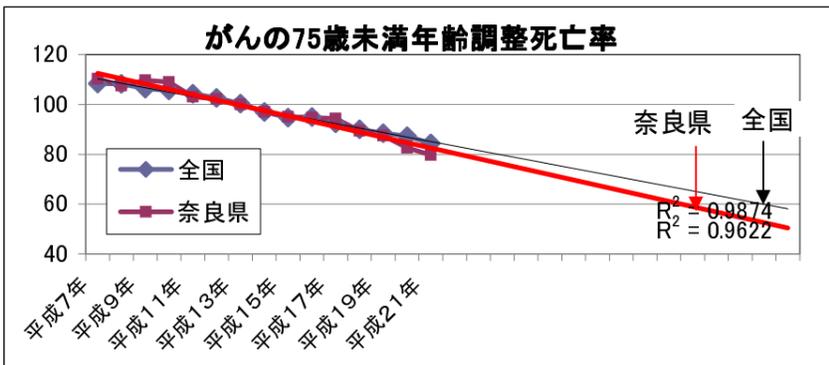
●課題

- ①がん死亡者の減少という目標（値）の設定
- ②がん死亡者を減少させるための対策のうちで効果的な実行計画の検討
- ③県民に対してのメッセージを明確にした、アクションプランの体系化

●目標の考え方

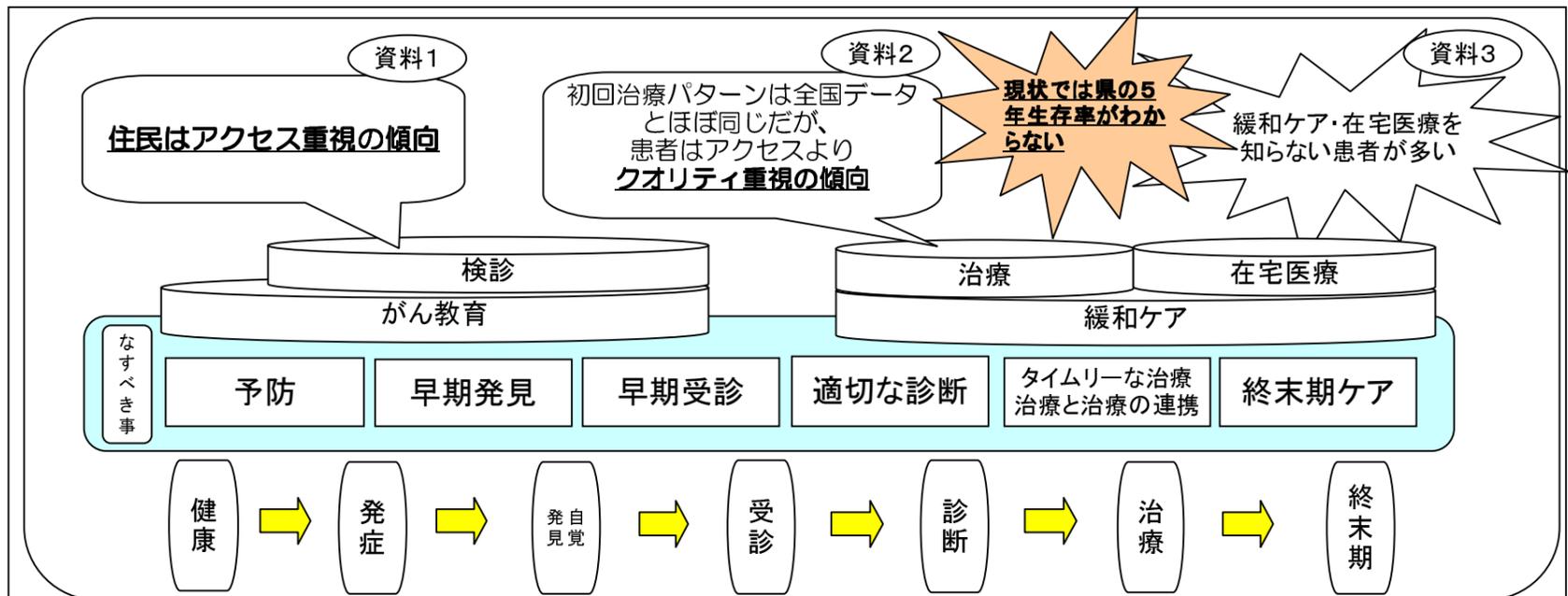
- ①国は75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少を目標としている
奈良県では、今の状態が続くとすると約10年で20%減少の達成が見込まれる！！
- ②ただし、今後、団塊の世代が高齢者層に入り、老年人口割合の増加が見込まれることから予断を許さない→死亡者数の増加

裏返せば、生存率を伸ばすことを目指す



目標達成のためには、さらなる取り組みが必要！

●現状について



●必要な対策の方向性について

・がん検診の強化・がん医療の均てん化・がん教育・たばこ対策

①即効性のある対策

資料4 資料5

<がん検診の強化> アクセス重視

5大がん：

0期、I期での発見割合が全国に比べ低い
早期発見すれば5年生存率が高い

女性特有のがん（乳がん・子宮がん）：

75歳未満での死亡率が他のがんに比べ高い
早期発見すれば、5年生存率が高い

→早期発見・早期治療につながる検診の検討

②中期的な対策

<がん医療の均てん化> がん医療のクオリティ重視！

拠点病院の整備充実

- ・県立医大病院：H27中央手術棟整備
- ・県立奈良病院：H28移転建て替えによる物的・人的整備充実
- ・市立奈良病院・・・H25末 建て替え整備による設備充実

拠点病院以外のがん医療の質の向上

- ・放射線機器整備補助：H23 済生会中和病院・高井病院
- ・がん治療情報の共有：「地域がん登録」の開始
「ならのがん登録」システムの検討
- ・がんの地域医療連携クリティカルパスの実施：
「私のカルテ」の作成及び活用

<緩和ケア・在宅医療の充実>

- ・認知度を高めるための普及啓発：「患者必携」「緩和ケア導入のための主治医必携ガイド」の作成、活用
- ・受け皿調査の実施
- ・相談支援・情報提供の充実

③長期的な対策

資料5

<がん教育>

食事、たばこ等についての教育

→教育委員会と共に、小学校から始めるがん教育

<たばこ対策>

喫煙率が全国3位と低い（男性：1位、女性：9位）が、さらなる喫煙率低下に向けた対応

→「禁煙マラソン」事業の開始、全市町村役場の施設内禁煙を目指す